【千葉館山 根本キャンプ場 夏合宿】（1983 年 8 月 1 日から 7 泊）日大応援団 3 年 体験の一部

※ 2020 年 脳溢血となった私の記憶のある内に整理

◆「後輩のナンパは 特にダメっ！ 事件」

合宿中なのに、 応援団 1 年生なのに、 夜中 売店に居た女の子と 2 人きりで四角い高さ 2m位のブロックの簡易着替え部屋へと入って行った。

同期 3 年生のＴＴ氏がそれに気が付き、なぜか“笑” 1 分ぐらい待って「本人の名前」をブロックの上から呼び 「ハイッ！ そこまで」。

そこで別れた二人がその後どうなった？ かは知る由も無いが。 とにかく その 1 年生の練習は次の日から更に地獄に、

◆「砂かけてオヤスミ 事件」

OB 先輩等が近くの旅館・ホテルの予約も無く、いきなり 10 名近く

来られた日は、1 年生 2 年生の寝るテントが無くなる。

屋外で砂をかぶって、寝る。 （雨が降らなくて、よかったね）

◆「花火 事件」

OB を含めた応援団の夜のキャンプはとても賑やかであり、周りには時折

人だかりが出来るほどに。

応援団の場所は敷居で区切られているが、OB の一部は、周りの人だかり

の方向へ 水平にロケット花火をバンバン飛ばしていた、けど、、。

夜なのに、花火飛ばしたのに、 夜 11 時位まで根本キャンプ場は 相変わらずの賑わいであった。

◆「大団旗が重たい！ でも他は？ 事件」

大団旗を持った行進の練習があった。（団旗を万一倒したら連帯責任、全員気は抜け無いが、、） 団旗手以外はまさに、休憩タイムなのだ！ “笑”

◆「せっかく海に来たのに 事件」

かつて合宿前の多摩川一泊の強化練習中（田園調布にｉ先輩のお宅が数軒？）「声がうるさいので止めてほしい」と住民の苦情、そう頼みに来た

お巡りさんは自転車で橋を渡り神奈川側に。 日大応援団本部 週一約 5 時間の合同練習場は皇居 千鳥ヶ淵、下は高速道路で「苦情はゼロ」。

なので 合宿は海沿いしか、無い。 しかし、桂浜も今井浜・河津浜もそうだったけど、根本キャンプ場も、諸先輩の対応は何故か同じ。

せっかく？ 海に来たのに、海につかったのは 123 年は 1 回のみ（10～20 分くらい）。 だから夜に見つからずにそっと海に入るしか無いのだ。

しかし当時はそんな元気は無く、でも一度だけ夜中に根本キャンプ場の海に入る。 40 年近く経ったので、時効？

◆「ラッキョで乗り切る 事件」

キャンプ場での 7 泊の夏合宿。母は「デカい瓶ごと持っていって」との事。朝昼晩ほぼカレーの毎日。（時折クリームシチュー丼）

ラッキョ瓶は当然直ぐにカラ。（現地で買い足す）

◆「 1／10 以下？ 事件」

3 年生の夏合宿を無事に終える。 半月程した夏の終わりに 個人的に同じ場所へ「ドライブ」にゆく。 その時 根本キャンプ場の管理人 曰く、

「日大応援団の合宿直後に自衛隊が合宿をしたけど、日大応援団の 1/10 以下の厳しさ」 との事。 本当であれば、嬉しいような、悲しいような。

※ どちらにしても 各自衛隊員の「日本を守る心構えは称賛に値する」と考えております。 みんなで「日本・世界の平和」へ邁進しましょう。

★ 一所懸命に、逃げずに、4 年間やらなければ本当の価値が解ら無い、大学の応援団道。

「利他の心」に成長し、それが日本・世界の人々に少しでも多く伝われば、その分「世界が平和に近づく」と感じています。

※ 「フェイク情報は無し」が鉄則です。（信頼をいつしか失うので）

【情報を制する者は世界を制す】 「正直な記録の作成・その重要性」を広めてゆきたい。